



経営所得安定対策 飼料用米などへの取り組み

問 まちづくり課 農政係 ☎77・3917

今年度から「生産数量目標」が廃止となり「生産目安」に変わりますが、生産調整（転作の取り組み）は無くありません。引き続き国からの補助制度を活用して安定した農業経営を目指しましょう。

水田活用の直接支払交付金

飼料用米などの作物を生産する農業者に対して交付します。

交付対象者

水田で飼料用米・加工用米、麦などの作物を生産する販売農家・集落営農

交付単価

生産する作物に応じて下記表のとおり交付

交付対象面積

下記表のとおり

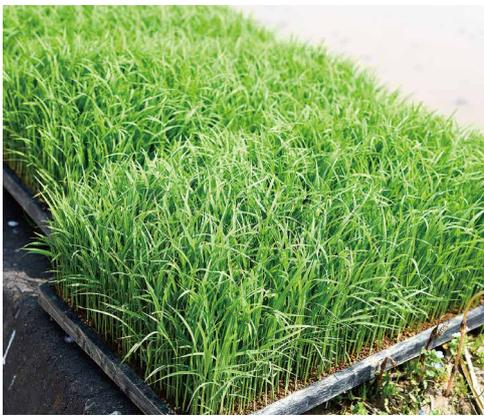
ナラシ対策（米・畑作物の収入減少影響緩和対策）

対象となる作物の価格が下落した場合に収入を補てんする保険的制度です。

対象者

認定農業者、集落営農、認定新規就農者

対象作物



主食用米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしよ

補てん内容

対象品目の販売収入の合計が過去5年間の標準的収入を下回った場合に、その差額の9割を、国からの交付金と農業者の積立金で補てん

交付申請書提出期限

6月29日(金)まで

水田活用の直接支払交付金 交付対象一覧

対象作物	交付単価
飼料用米、米粉用米	収量に応じ 55,000円～105,000円/10a(標準収量(約9俵)で80,000円程度)
WCS用稲	80,000円/10a
加工用米	20,000円/10a
麦、大豆、飼料作物	35,000円/10a

※飼料用米・米粉用米は、作柄調整（当該年度の地域の収穫実績）により交付単価が変動します。
※米の直接支払交付金（生産数量目標達成者に対する7,500円/10aの補助金）は平成29年度で終了。

講演会のお知らせ

「認知症を知ろう」

誰もが安心して

暮らせる地域づくり

問 地域包括支援センター
☎77・3925

認知症は誰もがなりうる可能性があります。認知症について正しく理解することにより、認知症の方やその家族への接し方について学びます。

■講師 医療法人社団慈優会
九十九里病院
作業療法士 芝井 孝祐

■開催日時 5月22日(火)
午後2時～3時30分

■場所 福祉センター「やすらぎの里」2階講習室

■参加費 無料

■定員 先着50人

■締切り 5月18日(金)

※定員になり次第締め切り

■申込み 地域包括支援センター



5月31日は「世界禁煙デー」

5月31日～6月6日までは「禁煙週間」です

たばこは、がんをはじめ多くの生活習慣病を引き起こす大きな原因です。

また、自分だけでなく周りの人の健康にも大きな影響を与えてしまいます。

禁煙週間を機会に自分や家族のために、あなたも禁煙やたばこの煙の害について考えてみませんか？



町では、原則私有地に関する不法投棄物の回収はできません。不法投棄を行う者は、管理が不十分な土地や資材置き場、空き地などを狙っています。また、他人に貸した土地がごみ置場にされてしまい、その処理に困るケースも発生しています。土地の所有者は、空き地などに対しては、管理者を明示するとともにゲートなどを設けて管理し、貸した土地に対しては、土地の状況を定期的に確認するなどして土地管理責任に基づく



適正な管理をしなければなりません。

あなたの土地にごみを不法投棄されないように、土地の管理を適正に行いましょう。



自分の財産は自分で守りましょう
あなたの土地は大丈夫？

まちづくり課環境下水道係 ☎77・3908

地方創生加速化交付金の実績報告

総務課 企画政策係 ☎77-3921

芝山町では、平成28年度に地方創生加速化交付金を活用し「スポーツツーリズムDMO構築による新たな産業創出と地域の魅力向上」事業を実施しました。平成30年2月14日に行われた芝山町総合戦略推進会議で報告した本事業の実施状況は、下記のとおりです。

■事業の内容

スポーツツーリズムDMO「みどりと空のプロジェクト」の組織化を図り、地域資源の商品化の検討、観光人材の育成を実施しました。また、旧県立芝山高等技術専門校跡地を再利用し、地方創生事業の拠点化を図るとともに、山中地区の古道の再生など地域観光資源の開発を行い、町の魅力向上や新たな住民を呼び込む場づくりをしました。

■事業の評価・継続

地方創生に相当程度効果があり、総合戦略のKPI達成に有効であり、今後も事業の継続を図ります。

交付対象事業による費用内訳	内 容	実 績 額
I 芝山町日本版 DMO 設立支援事業	スポーツDMO組織化に向け、プロジェクトスタッフを公募し、課題や役割、活動内容について検討し、事業化する体制を構築した。	24,267,000
II 拠点づくり事業	プロジェクト参加者自ら、旧県立芝山高等技術専門校跡地の再活用および山中地区の古道（赤道）の整備、地域の地方創生拠点づくりの場として再生した。	5,512,927
III 芝山町創生の空間創造事業	旧県立芝山高等技術専門校敷地内の倒壊もしくは危険な施設を取り除き、安心安全な空間を創造した。	26,136,000
IV 芝山町創生の拠点化事業	地方創生の拠点として、旧県立芝山高等技術専門校施設の必要最低限の復旧修繕を行った。	556,545
	合 計	56,472,472